

MGC グループ環境貢献製品認定基準

2016/11/21 制定

[MGC グループ環境貢献製品]

製品のライフサイクル（原料生産、製造、流通、使用、廃棄、リサイクル）に関わって、環境負荷を低減すること、または良好な環境を創り出すことに貢献する製品または技術を、MGC グループ環境貢献製品と定義し、以下の基準に従って認定する。

[認定基準]

製品のライフサイクル（原材料生産、製造、流通、使用、廃棄、リサイクル）のいずれかの場面において、以下に示す効果を有する製品および技術

環境貢献分野	環境貢献細目	考えられる例・評価のヒント
1 再生可能エネルギー	a 再生可能エネルギーの開発	・ 太陽光、風力、地熱、バイオマス等による発電などの再生可能エネルギーそのものの開発
	b 再生可能エネルギーの生産に寄与する製品または技術	・ 再生可能エネルギーの生産のために必須となる原材料、機器である製品や技術
	c 再生可能エネルギーの利用を促進する製品または技術	・ 製造・加工時における再生可能エネルギーの使用比率が高い製品 ・ 再生可能エネルギーを利用するために必須となる原材料や機器となる製品や技術
2 省エネルギー	a 消費するエネルギー（燃料・熱・電気）を少なくできる製品または技術	・ 軽量化、小型化などにより、流通時の使用エネルギーを削減している製品 ・ 軽量化、小型化、高性能化などにより、従来製品に比べて川下製品の使用エネルギー削減に貢献する製品
	b 製造時に使用するエネルギーを大幅に削減した製品または技術	・ 製造・加工の低温化やプロセス短縮などにより、同一性能の製品に比べ製造・加工時の使用エネルギーを削減している製品や技術
3 省資源	a 消費する資源（原材料）を少なくできる製品または技術	・ 小型化やリサイクル原材料の使用などにより、同一性能の製品に比べ原材料使用量を削減している製品 ・ 小型化、高性能化などにより、川下製品の使用原材料削減に貢献する製品
	b リサイクル原材料を使用している製品または技術	・ リサイクル原材料の使用量比率が高い製品または技術 ・ 使用後の製品を回収したりリサイクル原材料を使用している製品や技術

4 資源循環	a 廃棄物の発生量を減らすことができる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の歩留まり向上や包装の簡略化等によって廃棄物発生量を削減している製品や技術 ・精製などのリフレッシュ操作により再使用できる製品
	b 使用後のマテリアルリサイクル率を高めることができる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の純品化、易分別化などによりマテリアルリサイクルを促進している製品や技術
5 大気環境保全	a 大気中に排出する有害物質の量または有害性を少なくできる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料中の有害化学物質を、有害性の低い物質に置き換えた、または使用しないようにした製品や技術 ・有害化学物質使用量削減などにより、製造・使用・廃棄時の大気中への排出量を低減している製品や技術
6 水環境保全	a 水域、土壌、または地下水中に排出する有害物質の量または有害性を少なくできる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料中の有害化学物質を、有害性の低い物質に置き換えた、または使用しないようにした製品や技術 ・有害化学物質使用量削減などにより、製造・使用・廃棄時の水域への放出量を低減している製品や技術
	b 水使用量、または排水量を少なくできる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・製造・加工時の水使用量、または排水量を削減した製品や技術 ・川下分野における水使用量、または排水量の削減に貢献する製品や技術
7 地球温暖化防止・適応	a 地球温暖化ガス（GHG：CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O、HFC等）の排出量を少なくできる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・低温化、プロセス短縮などにより、同一性能の製品に比べ製造・加工時のGHG排出量を削減している製品や技術 ・製品の軽量化、小型化やモーダルシフトなどにより、流通時のGHG排出量を削減する製品 ・軽量化、小型化、高性能化等により、川下製品のGHG排出量削減に貢献する製品や技術
	b GHGの固定化を促進することができる製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・GHGそのものを固定化または資源化するための製品や技術
	c 地球温暖化に適応する製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・気温上昇、海面の上昇、気象の激化などの地球温暖化による変化に適応するための製品または技術
8 生物多様性保全・持続可能性	a 生態系バランスを良好に保つことに貢献する製品または技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系、生物種、遺伝子の保存や保護に貢献する製品や技術

	<p>b 生態系バランスに対する負の影響を低減する製品または技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生分解性原材料や生物由来原材料などの使用率が高いことなどにより廃棄時の生態系負荷を低減する製品や技術
	<p>c 環境浄化や、良好な環境を創出・維持する効果を持つ製品または技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有害化学物質を除去、または無害化する製品や技術 ・原材料採取時に環境を破壊しない、または環境復元の対策を行なっている製品や技術 ・大気・水域・土壌などの環境を浄化するための製品や技術
	<p>d 資源や環境の持続的使用に貢献する製品または技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達した原材料の比率が高い製品 ・バイオマス原材料やエネルギーを使用する製品または技術 ・化石系原材料を生物由来原材料などの再生可能原材料に置き換えた製品
<p>9 認定・認証</p>	<p>a 環境ラベルなどの認定・認証等を受けた製品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・RoHS 指令などの化学物質規制に対応している製品 ・環境ラベル タイプ I (ISO14024) の基準合格認定を受けた製品 (エコマーク、グリーンプラなど) ・環境ラベル タイプ II (ISO14021) の自主基準合格の自己宣言をした製品 ・環境ラベル タイプ III (ISO14025) として定量的環境情報を開示し認証を受けた製品 (エコリーフなど) ・バイオマスマーク認証を受けた生物由来資源による製品 ・カーボンフットプリントを宣言 (表示) した製品 ・カーボンをオフセットした製品